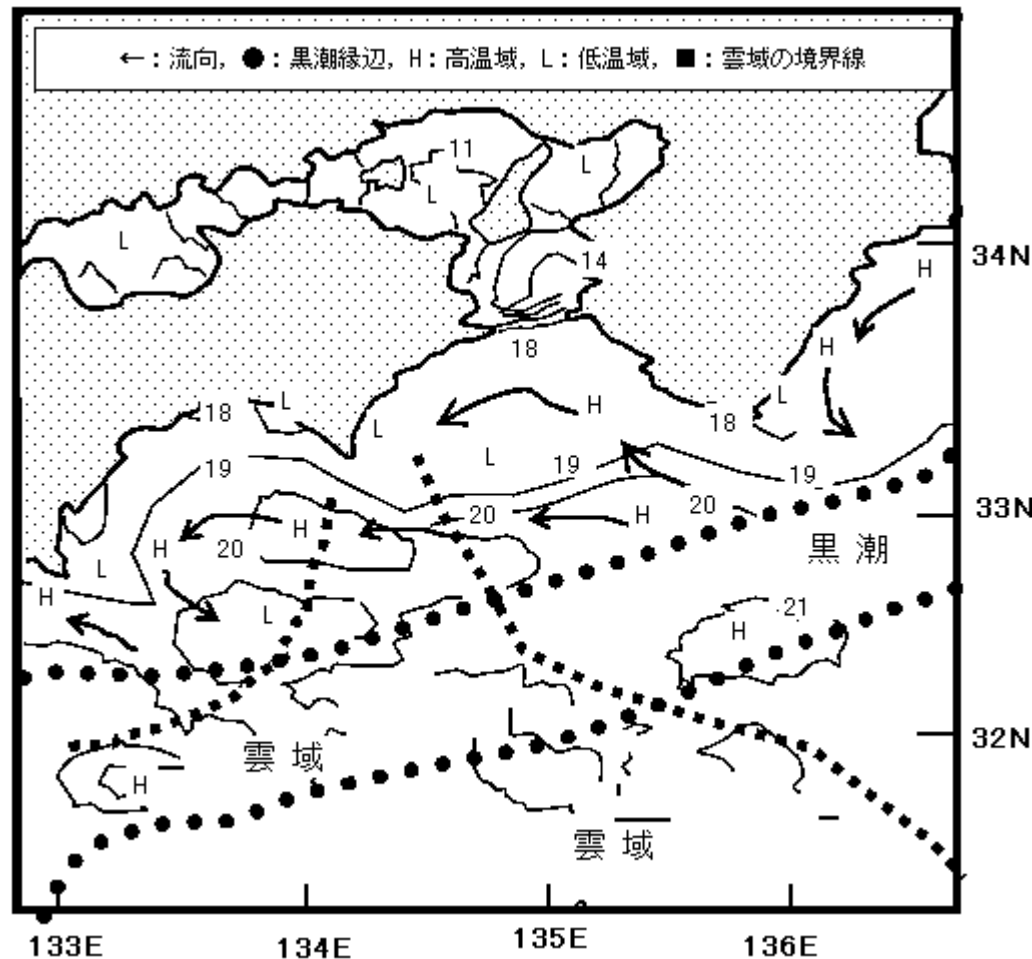


## 1. 海況の経過

### 1) 黒潮

九州東岸～足摺岬でやや離岸、室戸岬～紀伊水道沖～潮岬で離岸して流れている。表面水温は21℃前後。



### 2) 海況

上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.2.4～5)を示した。

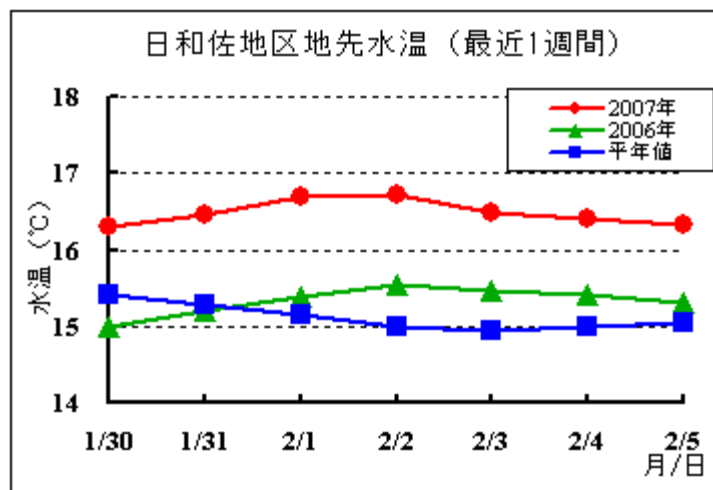
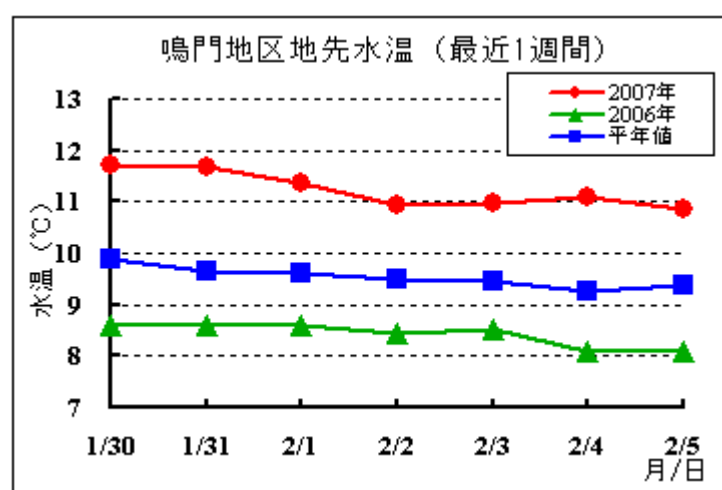
表面水温は播磨灘が10～11℃、紀伊水道内部が11～18℃、水道外部は18℃で覆われている。

1月23日から海部沿岸に20℃台の黒潮系暖水が時計回りに強く差し込んでいたが、2月1日以降その勢力が弱まり、水温も低下傾向にある。

### 3) 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の10.8～11.7℃で、日和佐地区が「やや高め」～「高め」の16.3～16.7℃で、牟岐地区は「高め」の16.6～17.4℃で推移した。

気温の上昇と黒潮系暖水の強い差し込みにより各地区ともに高め基調で推移していると考えられる。



## 2. 漁況の経過

現在、漁獲情報集計システム更新作業のため3漁協の漁獲データのみ掲載しております。

釣りで紀伊水道、海部沿岸ともタチウオが豊漁であった。

**延縄:**海部沿岸で、サバフグが0.8トン(1日1隻あたり18kg)、大、中主体にアマダイが0.5トン(同19kg)、トラフグが0.1トン(同8kg)水揚げされた。

**すくい網:**海部沿岸で、カワハギが0.5トン(同44kg)水揚げされた。

**小型定置網:**海部沿岸で、アオリイカが0.4トン(同22kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、大主体にタチウオが6.8トン(同124kg)、大主体にアオリイカが1.1トン(同7kg)、大主体にカミナリイカが0.3トン(同5kg)、紀伊水道でも、特大主体にタチウオが1.9トン(同213kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 1月25日～1月31日 県下3漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	46	831	18	
		アマダイ	27	520	19	大、中主体
		トラフグ	17	131	8	
すくい網		カワハギ	11	488	44	
小型定置網		アオリイカ	19	410	22	
釣り		タチウオ	55	6,827	124	大主体
		アオリイカ	153	1,143	7	大主体
		カミナリイカ	51	270	5	大主体
		紀伊水道	タチウオ	9	1,921	213

週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬沖とも「かなり離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「高め」の10～11℃、日和佐地先で「高め」の15～16℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のパッチ網でシラスが13.3トン(1日1隻あたり247kg)、曳き縄でタチウオが5.2トン水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが6.2トン、さば類が6.0トン水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上